

令和7年2月吉日

各施設薬剤部（科）長・薬局長 殿
九州山口地区 県病院薬剤師会 会長 殿

福岡県病院薬剤師会
会長 神村 英利

（依頼）九州山口薬学大会病院薬局協議会
「九州山口地区におけるリフィル処方箋の実態調査」について

拝啓

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

令和4年度診療報酬改定において、一定期間に処方箋を反復利用できるリフィル処方箋の仕組みが設けられました。この度、九州山口地区の医療機関を対象としたリフィル処方箋の実態調査を実施し、現状把握とこれからの課題について取りまとめたいと考えております。

本調査につきましては、第83回九州山口薬学大会 病院薬局協議会/学術フォーラム（2024年10月 鹿児島）にて趣旨説明を行わせていただきました。調査結果につきましては、第84回九州山口薬学大会（2025年9月 佐賀）にて報告させていただきたく存じます。また、調査の概要に関しまして下記にお示いたします。

皆様におかれましては大変ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、本調査へのご理解とご協力を賜りたくお願い申し上げます。本調査が九州山口地区の医療機関におきまして有益な情報となりますよう取りまとめさせていただきたく存じます。何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

調査の概要

調査項目：九州山口地区におけるリフィル処方箋の実態調査

主な内容

<全施設に対して>

許可病床数、病院機能、標榜診療科、薬剤師数（常勤換算）、
2025年2月の外来処方箋数とリフィル処方箋数、
リフィル処方箋に対しての病院薬剤師の関与、
リフィル処方箋による得られる（得られるだろう）効果、
リフィル処方箋に対するイメージ、課題、病院薬剤師の業務に与える影響

<リフィル処方箋を発行している施設に対して>

2025年2月のリフィル処方箋発行診療科、対象医薬品、
2025年2月の保険薬局からのトレーシングレポート数、
対象患者の選択基準の有無、リフィル処方箋に取り組むようになったきっかけ、
保険薬局からの受診勧奨やリフィル処方箋提案の有無、保険薬局との連携方法

調査方法：Google フォームへ入力

調査シート URL：<https://forms.gle/iUZQHiLoUEFeH1FD9>



調査期間：2025年2月25日（火）～2025年3月31日（月）

本調査に対する問い合わせ先：

福岡大学病院 薬剤部 森脇典弘

電話 092-801-1011（代表）

メール nmoriwaki@fukuoka-u.ac.jp